

JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について 谷津南小学校保護者対象説明会 議事録（要約）	
開催日時	平成25年10月30日（水曜） 17：00～18：30
場 所	谷津南小学校
出席者	辻学校教育部長、市瀬学校教育部参事、田久保学校教育部次長、 小野寺教育総務課長、島本学校教育部主幹

島本主幹 （JR津田沼駅南口開発の進展に伴う児童増加対応について、資料に基づいて説明）

【質疑応答】

質問者 事前に配布された資料2ページの最後、(4)老朽化で、谷津小学校が建築後52年を経過しているということだが、谷津小学校は何年間使えるということに沿って今計画を立てているのかということをお伺いしたい。

また、今日いただいた資料の8ページ目、第一義的にまとめた対策案のところで、高学年を分離するという案について、千葉市立新宿小学校、中学校での対応を参考にしたということだが、来年度からこれが始まるということであれば、私の感覚としては、参考にはならないのではないかという感じで、5、6年を分離することについて、どんなことが起きるのかというのが、ちょっとイメージできない。なので、今、考えているメリット、デメリットについて教えていただければと思う。

回答者 まず1点目の谷津小学校の校舎がいつまで使えるのかというような御質問。基本的に今、市では公共施設再生という取り組みの中で、学校施設については60年を経過することを一つ前提としている。そういう中では、谷津小学校は建設後、既に52～3年になっているので、施設の更新が必要になってくる。公共施設再生は、現在、まだ策定をしている段階であるけれども、平成26年度から31年度が第1期計画、そして32年度から37年度が第2期、38年度以降が第3期というような構成であり、谷津小学校については、32年度からの第2期計画の前半というような位置付けがなされている。ただし、今回の児童増の対応というような中では、その計画時期、こういったものを前倒すというようなことも考えている。

そして2点目の高学年分離という部分については、確かに実例としてある

ということではなくて、その開発用地等との対応というような取り組みにおいて、分離をするというような状況の中で、参考にさせていただいているということである。メリットのひとつとして、中学校へ進学する前の2年間というところで、谷津小だけというのはあるけれども、中学生との学校生活中で、中学生を見習うというようなことが一つ。また、デメリットのほうについては、やはり高学年と低学年が離れてしまうというようなことから、その関係性。あるいは高学年の方だけが中学生等の学校生活を見るというような関係性ができてしまうという点から、そこに生まれる弊害、あるいは、全校集会、あるいは運動会、そして、谷津小だと、管楽器の管弦楽クラブ活動が4年生からやっているというような取り組み等、学校運営上の課題というものがあると考えられる。

回答者 補足説明させていただく。5、6年生を第一中学校へ分離をした場合のデメリットとして、高学年、特に6年生は進学ということで第一中学校に上がる中で、これはある意味メリットの部分もあるけれども、一つは進学先の中学校と交流をする中で、今、全国的に問題になっている不登校の問題であるとか、そういうようなものの中で進学するに当たってはメリットにはなるだろうと。ただし、そのメリットも谷津小学校のみというところがあるので、逆に向山小学校、また、谷津南小学校はどうなのかというようなところを考えると、デメリットの部分にも考えられる。また、全体の学校行事が分離したときに、全体での行事をどのように運営していくのかというような部分、それから、低学年、高学年の交流というようなところで、距離を少し置いた中で、交流をどういうふうにしていくかというようなところでは、また考えていかなければいけないというようなデメリットの部分が考えられる。

また、中学校の声というところでは、特別教室、体育館等の使用の中で、中学校と小学校の両者の教育過程の編成についても工夫を重ねてやっていかなければいけないというようなところが考えられる。

質問者 今、通学区域の変更で、案がたくさん出ているけれども、この中で、市のほうで評価をどういうふうに行っているのか、どの辺に、どの案に落ちついていけそうかという見込み、また、そういった評価をしているのかということと、仮に通学区域が変更になったときに、例えばどういう対策を考えて、本当に通学路の整理を考えているのか、基本的なところをどうするのか、マンションの事業者と詳しく何か協議されているのか、この辺を教えてください。

回答者 今のところ、1件目の通学区域を変更した場合の評価、市のほうでどのよ

うな方向で考えているかについては、本日、現状の説明というようなことで捉えている中で、その評価という部分については、現状においては通学区域を変更する、しないを含めて、案としてはフラットな考え方というようなところで御理解をいただきたい。

それと、2点目の通学路の安全対策については、こちらも現状の中で御意見をいただく中で、それらについて勘案をして、どのように対策を講じるかというようなことが主としてある。直ちにできることが何かというような中では、踏切、歩道が狭いといったところには、では人が立って、そういったところを見回るといったようなことが必要なかどうか、それが何人で十分なのかというようなこともあろうかと思うので、そういったところを含めて、安全対策については、どのような方策がとれるかというようなことも現在、関係課と協議をすることになっている。また、マンション事業者との協議については、現在、着工を進めている869戸のマンション、あるいはこれから開発されていく750世帯のマンション、こういったところの事業者と、安全対策という部分についての協議はしていないが、現状における建設地の通学区域である谷津小学校区については、通学区域の変更、こういったものも視野に検討している状況であるというようなお話をさせていただいているというような状況である。

質問者 第1回の通学区域審議会というのが開かれたと思うが、今後、谷津小学校についての通学区域の審議会というのは、開かれる予定はあるか。あるのであれば、その日時と場所を教えてください。

回答者 今年度の通学区域審議会の開催に際しては、東習志野地域も大型マンション、ユトリシアというものが立ち上がっていて、最終棟がこれから立ち上がっていくというような、その推移を見る中で、東習志野小学校の部分について、審議会で現在までに2回開催をしている。その中で谷津小学校の話については、現状の報告というものを一度させていただきたいと考えている。今回の案件については、一定程度、11月、12月にかけての説明会を踏まえて、諮問すべき内容の精査をする上で、この谷津地域に限った通学区域審議会を12月の末ごろに開催をしようという予定で現在考えている。場所は教育委員会の事務局の1階の会議室か、あるいは消防庁舎の会議室というところで、いずれにしても、開催に当たっては、その1週間前を目途に市のホームページで周知をさせていただく形で進めている。

質問者 12月にある程度の一定の方向性を出すということだが、12月末に通学区域審議会があるということか。

回答者 12月に一定の方向性という中では、11月中旬から、その対策に対する評価を加えて、その一定の絞り込みをさせていただく。その上で、本日を含めて、皆様方からいただいた意見を加味して、修正をできる部分は修正をし、案が1つなのか、3つなのかというところはあるけれども、こういう方向でいかがかというような説明会をさせていただく。そういう中で、再度、皆さんの意見を伺い、こういう方法でいくのが一番ベターだというような判断をさせていただいて、12月に通学区域審議会に諮問させていただく。審議会自体については、3回程度という中で、少なからず本年度の3月の段階では、最終の確定をさせていただこうというように考えている。

質問者 審議会の委員のメンバーというのは、どのような方たちが選出されているのか。この中に、土地区画整備組合の方は入っているのか。

回答者 通学区域審議会は全体で10名いる。まず、市議会のほうから、議員の方が2名入っている。それから、市長部局というところでは、企画政策部長が1名、それから、学校関係で、小学校、中学校、高等学校の校長がそれぞれ1名ずつ、そして学識経験者というところでは、PTA連絡協議会の中から4名の方をお願いをして、入っていただいて、合計10名という委員の構成になっている。

質問者 審議会メンバー、土地区画整備組合の方はいるのか。

回答者 PTA連絡協議会のほうで入っていただいている会長が、組合のほうの役員に入られていると確認している。

質問者 奏の杜だけではなく、全体的に学区がどうなるのかわからない状況となっているが、この奏の杜のマンションは谷津小に行けるよということで販売した経緯があると思う。それで、散々もめている中で、10月25日にアップされた、ブランド奏の杜という新しいマンションだが、近隣の教育施設として名前を挙げられていたのは、谷津小学校と第一中学校のみとなっている。これはあたかも、このホームページだけを見ると、まるでここに通えるような誤解をされるのではないかなという気がする。それはホームページを御覧になれば、わかると思う。

回答者 そのホームページはこちらでも確認している。その事業者に対しては、こ

ういう状況であるので、谷津小学校に通えることは確定できないことは伝えている。ただ、今後、1月ごろに売り出すという、販売を予定しているということであり、そのときはある一定の方向性が出ていると思うので、通学区域に変更があるかどうか、それで業者に伝えられるかなという形である。

質問者 今までの説明の中で、この案にしたら何教室この小学校は足りなくなるとか、そういう話がずっとあったが、それは全て増築できるスペースがあるから、その案を出していると理解してよろしいか。例えばこの一中に5、6年生を分離して、校舎を建てるというのを聞くと、一中にそんなスペースはあるんだろうかと。今でさえ、サッカー部が練習試合をすと言ったら、陸上部は外で部活はできない状況である。その状況で、新たに5、6年生の教室をつくるスペースがどこにあるのかというのが正直な感想。そこら辺について教えてほしい。

回答者 基本的には増築をするスペースがあるというような考え方になっている。第一中学校については、部活動等の支障が出てくる可能性があるのは、一つはグラウンドである。グラウンドに校舎棟を建てる場合。あるいは今、駐車場があって、校舎棟があって、体育館があって、プールがあって、テニスコートがあるというような並びになっている中で、プールとテニスコート、これをどのように代替できるかというところがあるけれども、現在のプールとテニスコートの場所に、校舎が立ち上がるというような想定の中で、第一中学校の分離校舎等については、想定をしている。

質問者 プールとテニスコートの敷地に校舎を建てるというか。

回答者 プールとテニスコートのある敷地に校舎棟が建つ。

質問者 そうすると、プールとテニスコートはどこに行くのか。

回答者 その場合のプールをどこに手当をするかについて、場合によっては、民間施設での代替という考え方も出てくるであろうし、テニスコートについては、どこか敷地の中で別途手当は必要になってくるというようなところで考えている。

回答者 なかなかこの土地に建てるのかというあたりが、非常に保護者の皆さんや生徒、子どもたちにとっては非常に心配なところだろうと思う。先ほどの

5、6年生が分離したときにどういうメリットがあるか、また、デメリットがあるかという中で、若干不安視しているものとして、運動場が、例えば中学生側からすれば、運動場は狭くなって、活動の場は非常に限られてしまう。今まで、どちらかという、第一中学校は狭い校庭の中で活動をしてきたという経緯があって、その中でようやく校庭が整えられたり、テニスコートができたりということがあるわけで、それは一つのデメリットになるかもしれない。さらに、逆に言えば、5、6年生を分離するということで、小学生のほうからいくと、1年生から6年生までが現校舎の校庭で運動をするということは、そこに全部の子どもたちがいるのと比べると、子どもたちにとっては、1年生から4年生までであれば、運動場での活動は確保されてという、逆のものから言ったならば、小学生に対してはメリットもあるかもしれない。今の中学校の話というのは、あくまでも想定での答えなので、どこに建てられるのかとか、どのように建っていくのかというのは、現に考えると、あの周辺に建つというか、あの辺が用地としてはあるのかなど。または、例えば駐車場があるので、ある程度敷地があるのであれば、子どもたちの活動の場を確保するという観点からすれば、先生方には大変迷惑を掛けるかもしれないけれども、その駐車場にも建てるという可能性もないことはない。どこに建てるかというのは、まだ現に決められていないし、どのように建っていくのかというのは、まだはっきりしていない。ただ、メリットもあるだろうし、デメリットもあるだろうなということの認識はしている。

質問者 27年度以降に通学区の変更を目途という案が結構多かったが、27年度に通学区を変更した場合、全生徒が変更になるのか、それとも経過措置として高学年のみや、既存の在学中の小学校に通えるという案でいるのか、どのような形を整えているのかを教えてくださいたいのと、あともう一点、これから中学校に向かうであろう小学校にて、中学校の通学区変更についての説明会などは予定されているかどうかを教えてくださいたい。

回答者 1点目の27年度以降に学区の変更をした場合、在校している子どもさんがどのようになるのかということについて、27年度をまず想定をしている中で、仮にその変更エリアにある子どもさんは、必ずしも転校ということではなく、そこについては、教育委員会としては柔軟な対応等をいろいろしなければならぬだろうということで、一定の経過措置というか、配慮事項の一つというような形で考えている。

それと、中学校の通学区については、現状においては、今回、推計の結果、36年度から教室不足というような推移になっているけれども、現段階にお

いて、中学校区の変更ということは考えてはいないので、説明をするという
ようなところでは、現状においては無いということで御理解いただければと
思う。

～閉会～